

地方自治法施行60周年記念貨幣(宮崎県)の表面図柄の説明

①千円銀貨幣(表面)(1.5倍/原寸)

『宮崎県庁本館と高千穂の夜神楽』



- 宮崎県を代表する建造物である宮崎県庁本館と高千穂の夜神楽(手力雄の舞)をデザインしています。
※宮崎県庁本館：昭和7年(1932年)に建設された、現存する都道府県庁本館の中では4番目に古い庁舎。全5階(地上3階、地下1階と屋上塔屋)の建物は、壁面に装飾柱を施し、その上端を尖らせる近世ゴシック様式。前庭には県の木であるフェニックスをはじめ、ソテツ、リュウゼツランなどが植栽され、1年中緑に覆われている。
※高千穂の夜神楽：天孫降臨神話で知られる高千穂町一帯に伝わる夜神楽。毎年、11月から翌年2月にかけて町内の約20地区において行われ、33番の番付(演目)を夜を徹して舞う。昭和53年(1978年)、国の重要無形民俗文化財に指定されている。

②五百円バイカラー・クラッド貨幣(表面)(2倍/原寸)

『宮崎県庁本館』



- 宮崎県を代表する建造物である宮崎県庁本館をデザインしています。